

令和7年度保健師研修会 アンケート結果

令和7年9月27日（土）13：45～16：30 アイーナ501

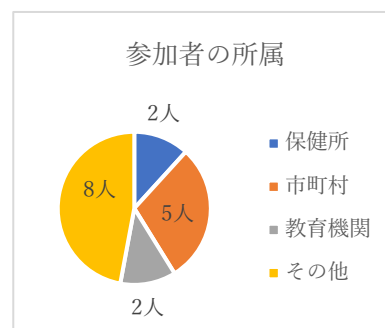
参加者23人（副会長、委員6名含む）：会員21人、非会員2人

アンケート回答17人（73.9%）

1. 参加者の所属

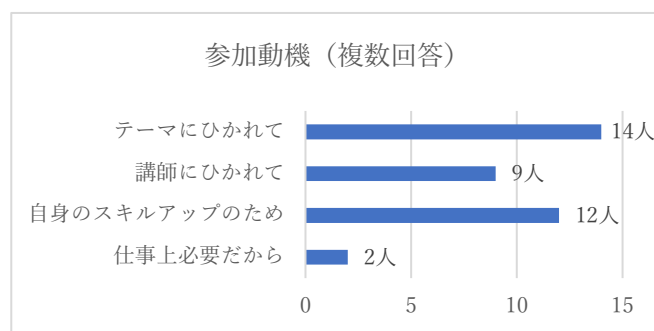
保健所	2人	11.8%
市町村	5人	29.4%
教育機関	2人	11.8%
産業保健	0人	0.0%
その他	8人	47.1%

その他：精神保健福祉センター、
地域包括支援センター（2人）、
障害者支援施設、岩手県保健活動者協議会、
個人会員、在宅



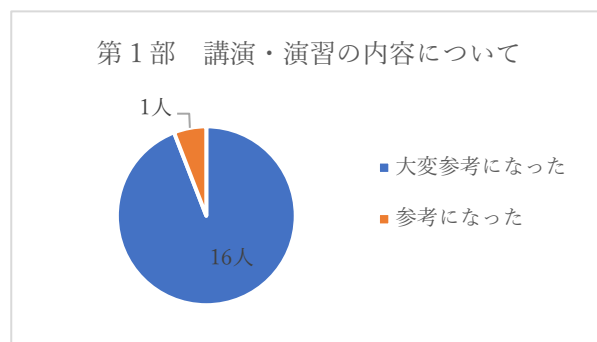
2. 参加動機（複数回答）

テーマにひかれて	14人	82.4%
講師にひかれて	9人	52.9%
自身のスキルアップのため	12人	70.6%
仕事上必要だから	2人	11.8%
勧められて	0人	0.0%
その他	0人	0.0%



3. 第1部 講演・演習の内容について

大変参考になった	16人	94.1%
参考になった	1人	5.9%
まあまあ参考になった	0人	0.0%
参考にならなかった	0人	0.0%

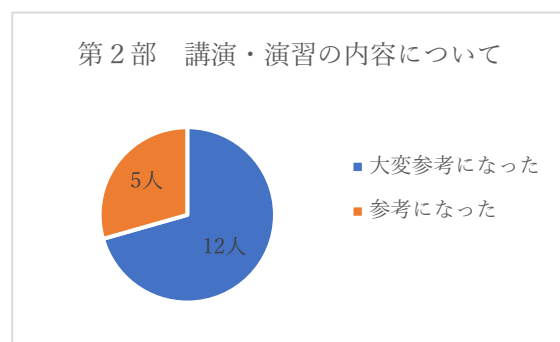


- ・ウェルビーイングとは何か、具体的に学ぶことができた。先生自身の経験や例えがわかりやすく、理解しやすかった。
- ・これからの保健活動に不可欠な内容であった。
- ・セルフ・コンパッションによって、自分の精神状態を良い状態に整えられる可能性があるから。
- ・支援する側が健康でなければ、継続的な支援は難しいということが自然と理解できた。セルフ・コンパッションの大切さがよくわかった。
- ・振り返ると昭和の時代の看護教育で、住民に尽くすことが当然、自己犠牲と献身を全うに仕事をし続けた。今からでも自分への思いやりを忘れずに過ごしていきたいと思う。
- ・支援者自身のセルフケアの方法としての引き出しが増えた。
- ・ケアする人こそ、自分自身のケアも大切であり、セルフ・コンパッションを意識して、自分自身の日常に取り入れたいと感じた。先生のお人柄も伝わり、安心して受講できた。

- ・保健師ジャーナルで連載を読んでいた。実際にセルフ・コンパッションについて聴くことで、より深められた。「小さな幸せ」を毎日みつけ「ありがとう」の気持ちも持って自分をいたわりながら家族に接し、仕事をしたい。
- ・とてもわかりやすくご講演いただき、また、演習を通して理解することができた。保健師ジャーナルで秋山先生のセルフ・コンパッションを読んでいた。実際にご講演を聞いて、より理解することができた。
- ・ウェルビーイングについて具体的に聞くことができた。看護職としての捉え、私たち自身の捉え、また、どんな指標で捉えるかなど幅広い捉えについて聞くことができた。ポジティブ心理学やコンパッションなどについても知る機会となった。
- ・セルフ・コンパッションについては、秋山先生が保健師ジャーナルに連載していた記事を見て興味を持っていたが、本日はウェルビーイングの理論、指標、測定や協調的幸福尺度についても詳しくご説明くださったので、よりセルフ・コンパッションの必要性を理解できた。他者のために全力を注ぎ、自分のことを二の次にしがちな看護職にとってはとても大切で、高めたいスキルだと感じた。また、大学にウェルビーイング学部が新設されていたり、富山県や宇都宮市のように先駆的に取り組んでいる自治体があることも教えていただき、改めてウェルビーイングについて調べてみたいと思った。
- ・ウェルビーイングの考え方についての理解が深まった。また、自分の心に向き合うことの大切さを実感した。是非実践してみたい。
- ・自分自身が健康でなければ相手に良い対応ができない。自身にコンパッションを向け、こころのバッテリーを充電することの大切さを聴くことができた。
- ・セルフ・コンパッションの具体的な方法がわかってよかった。
- ・ウェルビーイングが、国や自治体の成長戦略の中心と位置付けられている。学問として確立されている。
- ・自己犠牲ではなく、自分への優しさを持ちながら、心も体も元気に仕事や日々の生活を過ごしていきたいと改めて思った。
- ・ウェルビーイングとは何かわからない状態からの参加だったが、自分が生活、仕事をする上でとても大切な考え方だと感じた。これからはぜひ生かしていきたいと思った。

4. 第2部 講演・演習の内容について

大変参考になった	12 人	70.6%
参考になった	5 人	29.4%
まあまあ参考になった	0 人	0.0%
参考にならなかった	0 人	0.0%



- ・地域での取組を知ることができてよかった。
- ・他自治体のこども家庭センターの機能について知ることができた。庁内の連携がとてもうまくいっていると感じた。
- ・用事があり退席したが、資料を拝見して県内の他の保健師活動を知ることが有意義だと感じた。
- ・こども家庭センターの業務や、5歳児健診の実際について知ることができた。
- ・こどもまんなかのまちを目指した取組を知ることができた。
- ・就学前の健診で約半数の要指導児の数には驚きだった。支援方法が健やかな成長の手助けになる事を祈りたいと思う。
- ・他の市町村の取り組みを知る機会になった。災害後の対応の中、お忙しい中での準備に感謝。
- ・圏域以外の活動を知る機会になった。
- ・市町村で実施している5歳児健診について、理解することができた。管内の連絡会などでも共有したいと思う。林野火災対応についてもぜひ聞きたい。

- ・職場の取り組みを聞く機会がなくなってきたので良い機会だった。5 歳児健診の内容についても知る機会となった。
- ・以前、「岩手の保健」に大船渡市の母子保健活動について紹介されていた記事を読み、母子目線に立った細やかな活動をされていると感じていた。こども家庭センター設置や 5 歳児健診にもいち早く取り組んでいて、今回、その現状や課題についてまとめてご報告いただいたことで現場の状況を想像することができた。他の自治体の取組の参考になるのではないかと思った。（もう少し文字が見やすいように印刷していただけるともっと良かった。）
- ・大船渡市のこども家庭センター設置にかかる取り組み状況や、さまざまな工夫について知ることができた。もう少し時間をかけて聞きたかった。
- ・5 歳児健診の取り組みについて参考にすることができた。
- ・5 歳児健診の内容と取り組み状況がわかった。
- ・最近、他市町村の情報に触れることが少ないが、実践例をまとめて報告していただき、わかりやすかった。
- ・参考になる活動報告だったので、もう少しゆっくり話を伺いたかった。
- ・他市町村の取り組みを直接聞く機会は少ないので、岩手県でも初めに 5 歳児健診に取り組んだ内容など、たいへん参考になった。

5. 保健師職能委員会では今後、取り上げてほしい研修テーマ・講師等

- ・こども基本法の成立で、母子保健事業をこどもの視点で整理し直す必要があるような気がしている。母子保健事業にこども目線の実態を盛り込むために参考となる研修に興味がある。
- ・保健師の専門性を活かした事例検討会など。高齢者分野でも成人でも母子でもなんでもいいので、いくつか事例を持ち寄って保健師の実践力向上につながる研修会を開催していただきたい。
- ・大下大圓先生の瞑想体験について。本日の研修の継続。
- ・8 月に開催された中堅期保健師研修会の講師 松尾睦氏の保健師の経験学習と人材育成について。とても役立つ内容だった。
- ・コンサルとは別な業務を深め、考えるような単発研修。
- ・活動実践報告。
- ・案 1) 災害時保健活動マニュアルの策定・見直しに関する事例報告や情報交換（近年発生が多い豪雨災害等への備えやよりよい避難所設置に向けた訓練、避難所以外で避難する者への支援なども含めて）
案 2) 県内で活動する産業保健師の活動紹介や市町村・保健所等との連携についての意見交換 案 3) 保健師活動指針が改定されたら、その勉強会など
- ・保健師の分散配置の流れが止まらない自治体の現状を踏まえた部署を超え横断的に繋がるための方策。
- ・瞑想の実践指導第一人者である大下大圓先生をお願いしたい。看護協会出版から著書が出されている。

6. 看護協会では、保健師のネットワークを強化し、職能団体としての役割を発揮していきたいと考えている。保健師会員の拡大に向けたアイデア等

- ・他の団体との連携。様々な場面で協会活動の意義やメリットを伝える。
- ・自治体保健師間の情報交換会を定期的に開催して欲しい。
- ・小さなことでもいいので、実践報告会を今回のように保健師同士で行うことが良いと思う。市町村ごとに資源の違いや地理的な問題、背景もさまざまだが、人の生活を支える保健師として、共通する姿勢や考え方、資源の活用方法など、得られるものがあると思う。
- ・継続した交流会の開催。
- ・参加者同士が話したり、情報交換する機会を持ち、人と人が繋がることが大切に感じる。全国版の看護系学術集会等でも、参加者同士が気軽に話をするような企画が導入されていて、初対面でも繋がりが意識されてきている。
- ・学生、新採用から入ることの大切さを伝える。
- ・看護協会も参加していた 3 団体連絡協議会の岩手版を発足させ、それぞれの団体の動きの情報提供を

図る。

- ・加入者の多い自治体における新規加入者勧誘や産休・育休期間の脱退を防ぐ取組等を把握して紹介していただく。
- ・看護協会の研修への参加促進（マナブル登録者を増やし、どんな研修が行われているかまずは知ってもらう。）
- ・岩手県保健師長会の会員が率先して看護協会にも加入するような働きかけ。
- ・加入の少ない市町村へ、声掛けや加入説明を継続していただきたい。

7. 今回の保健師研修会へのご意見・ご感想

- ・わかりやすい例を交えながら、楽しく学ぶことができた。つい無理しがちだが、セルフ・コンパッションを意識していきたい。研修に参加しなかった同僚にも、ぜひ伝えたい内容だった。
- ・参加人数が少なく残念。
- ・時代にあった研修と感謝している。ありがとうございました。
- ・研修企画に感謝。可能なら、せっかくの参集研修であり、少しでも参加者同士が話をする時間があつたほうが良かった。あるいは講義型中心の研修であれば、広い県内からの参加の負担軽減のために web 参加を併設しても良いと感じた。
- ・会場がアイーナでよかった。
- ・参加者が少なく、皆さんに聞いてほしい内容だった。当日、他の研修があり、参加できなかった保健師がいた。職場で研修を共有したいと思う。
- ・とても参考になる企画を考えていただき、ありがとうございました。参加できて、とても有意義な半日となった。（様々な行事と重なるような日程だったためか、参加者が少なかったのがとても残念だった。）保健師職能委員会が行っている様々な活動について、今後も協会ホームページ等で紹介してほしい。委員の皆様、大変お疲れ様でした。
- ・アイーナでの開催はとても良い。今後、ハイブリット開催にするともっと多くの人が参加できると思う。
- ・とても感動した。準備運営ありがとうございました。感動を、来れなかった保健師長に伝えた。
- ・講師の方の印象がとても良く、もっと聞いてみたいと思った。貴重な講演の機会をありがとうございました。
- ・全体的な保健活動の動きがつかめない。看護協会図書館で保健衛生ニュースを閲覧できるようにしてほしい。